

研究主題

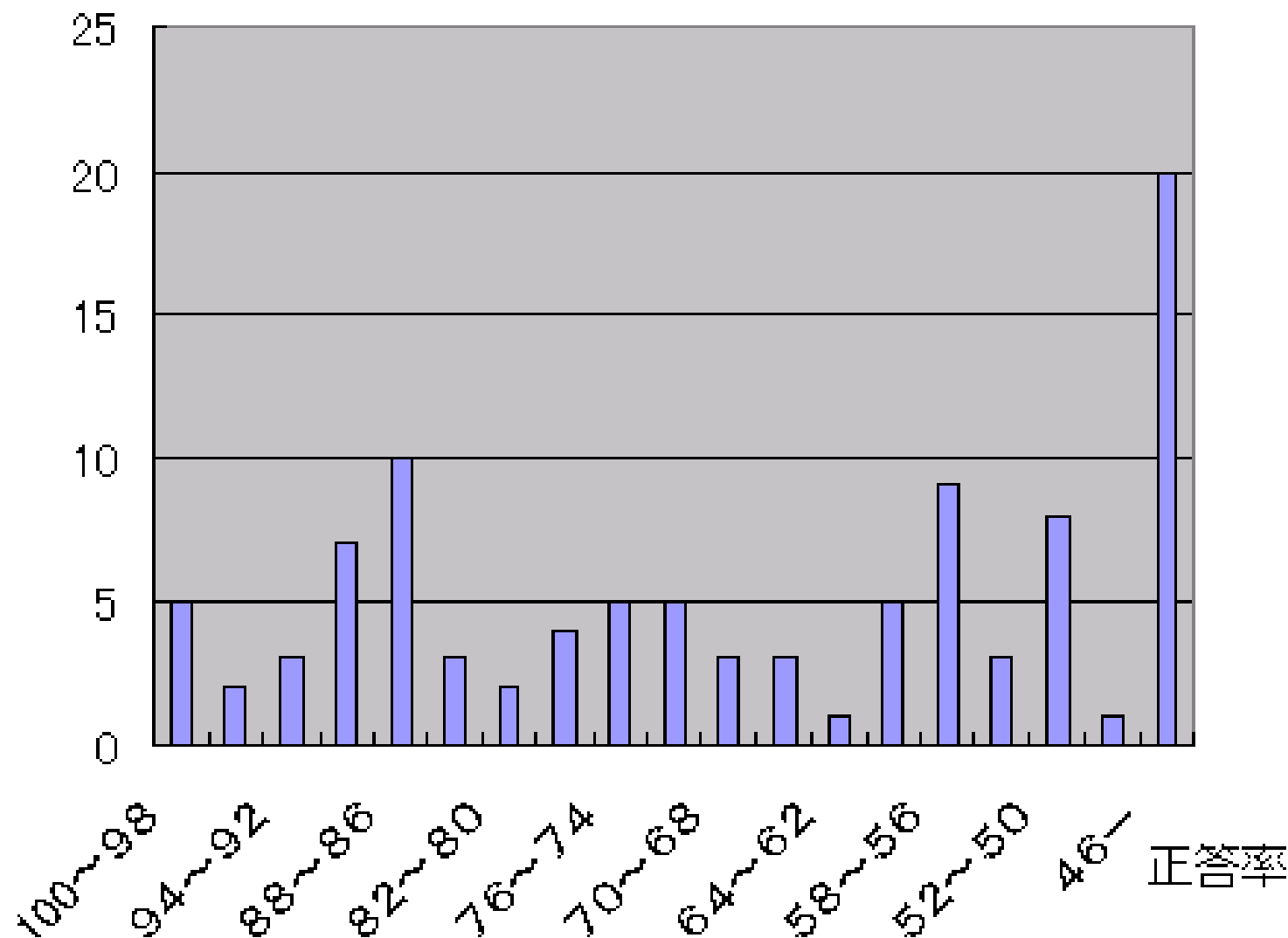
「一人一人がわかる喜びを味わい、
自ら意欲を持って学ぶ児童の育成」
～算数の習熟度別グループ指導のシステムづくり～



仙台市立黒松小学校 三 塚 修

算数の正答率分布(2001年4月)

割合(%)



より『多くの学年』で『きめ細かな指導』を！

(1) 3～6年算数・・・週20時間(5時間×4学年)

→ 学習の差が大きく、理解できずに意欲を失う子が多い

(2) 学級の枠をはずし、少人数グループで

理解度別・習熟度別編成も視野に入れて

<通常の少人数>

3の1(34名)担任+専任

3の2(34名)担任+専任

3の3(34名)担任+専任

102名を4グループに分割

【本校の少人数指導】

3年A(25名)担任

3年B(25名)担任

3年C(25名)担任

3年D(25名)専任

(学級を二分して別教室で指導)

(担任3名と専任が別教室で指導)

13年度 少人数グループ指導

(例) 4 学年

グループ編成

3 学級を 4 グループに (担任 + 専任)

はやぶさ

つばめ

白 鳥

きつつき

→ 児童に上下意識を持たせない配慮

グループ: 様々な形態を試行 (等分割・習熟度)

グループの移動 (单元ごと)

レディネステスト

児童の自己評価, 希望も加味



13年度末反省

- ・児童が適切なグループを選択できない
- ・グループ内の学力差が大きい
- ・人数の偏りが生じた
- ・基礎学力の低い子への手厚い指導が必要
- ・編成替えに時間かかる
- ・実態の把握，評価，情報交換が難しい



習熟度別グループ指導を全校体制で

14年度 習熟度別グループ実施に向けての改善

(1) グループ分け

- 子供の習熟度、学習状況から担任が決定
- 基本的には1年間固定、7月・12月に見直し
- 算数の苦手な子のグループをさらに少人数化
- (担任 + 専任2名の体制)
- 特別支援教育との交流
- 3月には次の学年のグループを決定, 連絡

(2) 評 価

- 各グループの担当が評価
- 算数のあゆみ(年3回)
- 通信票の改訂

学習内容のめやす

担任 + 専任2名

Eグループ: 応用力を身につけ、積極的に発展学習に取り組む

Dグループ: 基礎・基本を身につけ、発展問題にも挑戦する

Cグループ: 少人数で、基礎・基本を重点的に学習し、確実に身につける

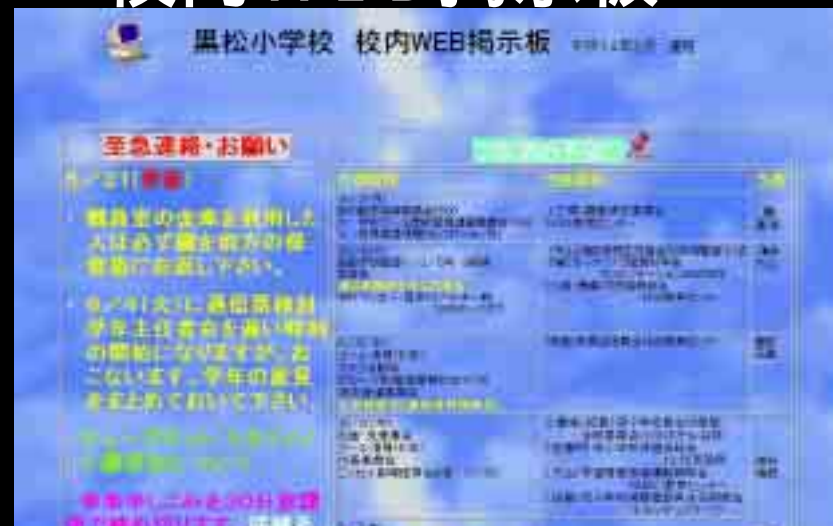
A・Bグループ: 少人数で初歩的な内容から、じっくり分かるまで繰り返し学習する

基礎・基本の確実な習得(教育課程の再編)

・行事の精選 ・週時程表,カリキュラムの見直し

- ・スキルタイム → 始業前10分間設定
- ・朝会,各種集会 → 木曜日の5校時に設定
- ・朝の打合せをなくす → 週1回夕方に

校内WEB掲示板



スキルタイム

(毎日10分・年間37時間)

- ・計算の習熟(1・2年 週2回) → 100ます計算
(3年以上は算数のはじめの5分間)
- ・読み書きの習熟(全学年 週3回)
→ 漢字, 意味調べ, 読書など
- ・基礎力育成に必要なスキル(3年以上 週2回)
→ スピーチ・コミュニケーション能力育成など



従来の朝自習

→ 教師の指導・継続性

「より教育効果を高める」

黒松小学校 学年別基礎・基本の手引き「算数」(案)

○1年生

- ・数字が正しく読め、書ける。
- ・100ます計算(たし算・ひき算)が最後までできる。

○2年生

- ・九九が、よどみなく言える。
- ・100ます計算(たし算・ひき算・かけ算)がそれぞれ5分以内にできる。
- ・定規を使って、筆算をきれいに書きながら、たし算・ひき算ができる。
- ・1000より大きい数が読め、書ける。
- ・時計を見て、時刻が言える。

本校の国語の基礎学力づくりの手引き(案)

第1学年

- ア ひらがな、かたかなの清音のすべてが読めて書ける。
- イ 配当漢字(80字)がすべて読め、8割の漢字を筆順正しく書くことができる。
- ウ 助詞(てにをは)を使い分けて文が書ける。
- エ 自分が伝えたいことを、はっきりした声で相手に分かるように話せる。

第2学年

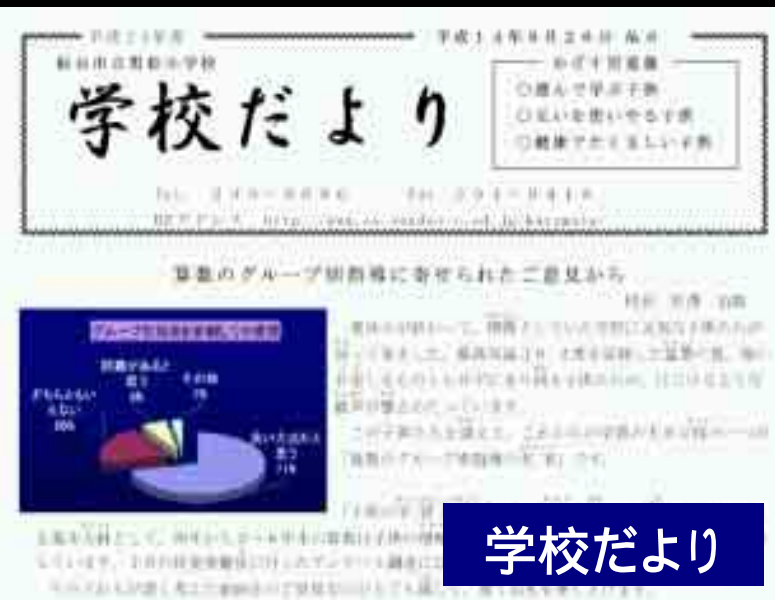
- ア ひらがな、かたかなのすべてが読めて書ける。
- イ 配当漢字(160字)がすべて読め、8割の漢字を筆順正しく書くことができる。
- ウ 助詞(てにをは)を適切に使い分けて文章が書ける。
- エ 時間やことがらの順序を追って、はっきりした声で相手に分かるように話せる。



年度末懇談会



PTA総会

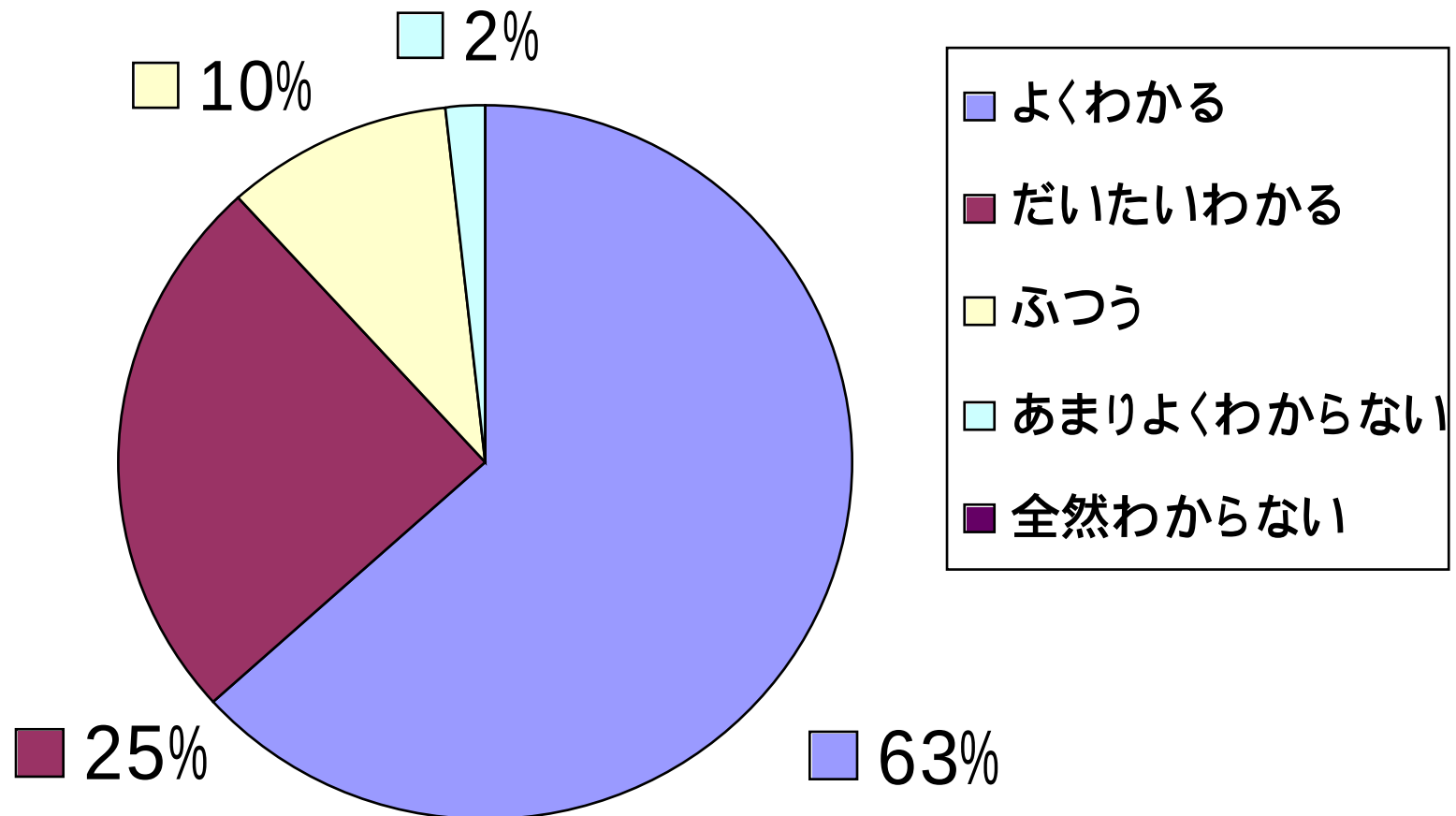


学校だより

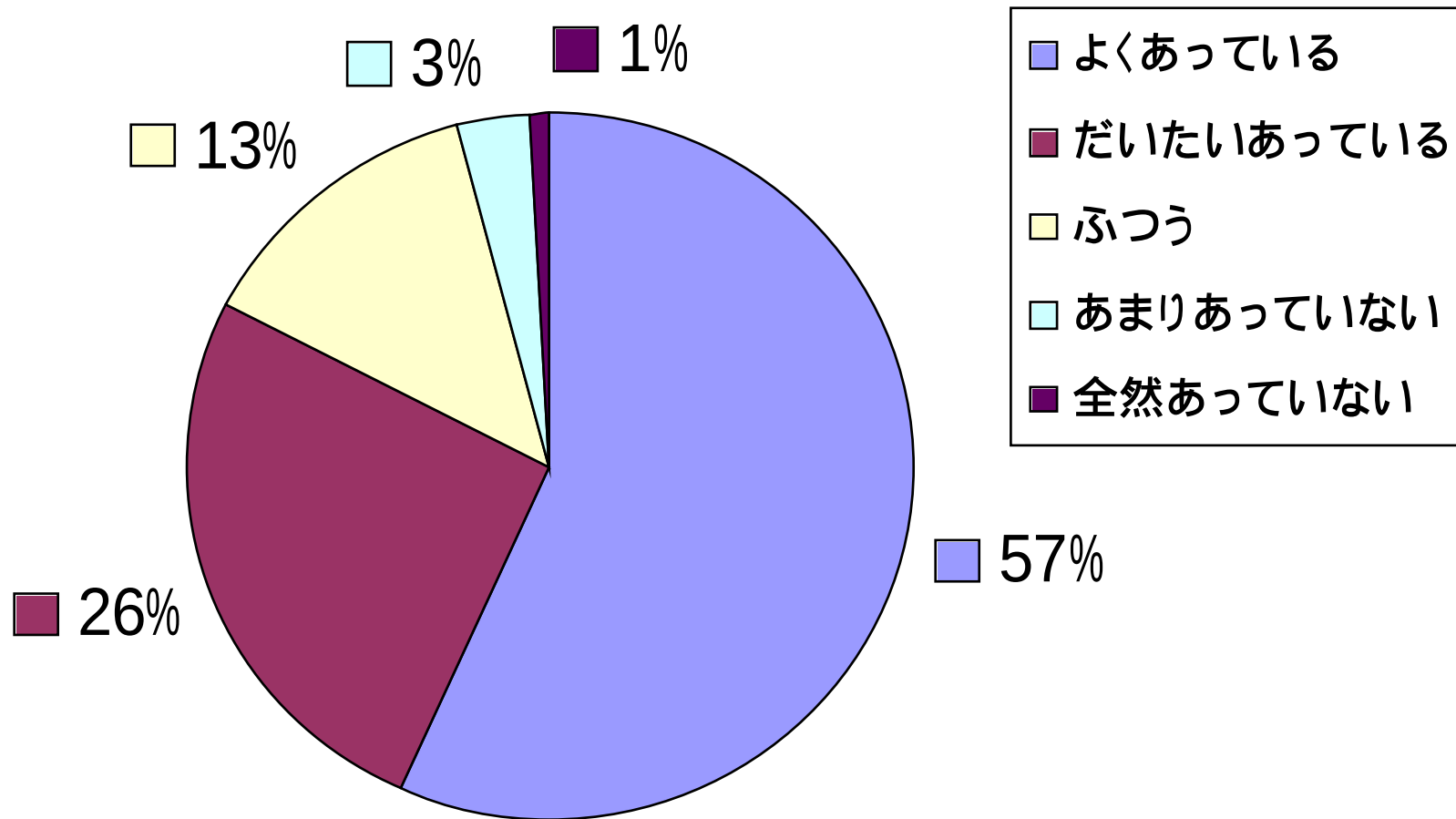


[ホームページ](#)

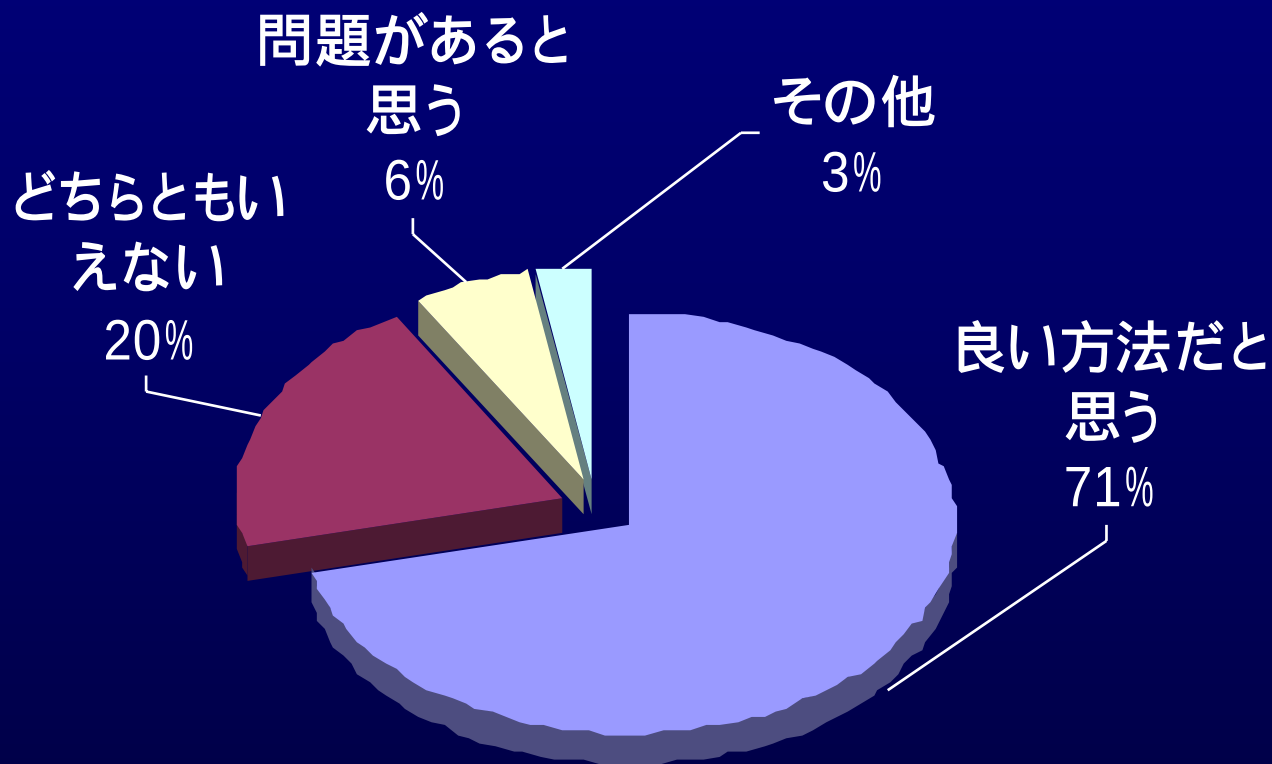
グループ学習の理解度



グループ学習の適応度



グループ別指導を参観しての感想



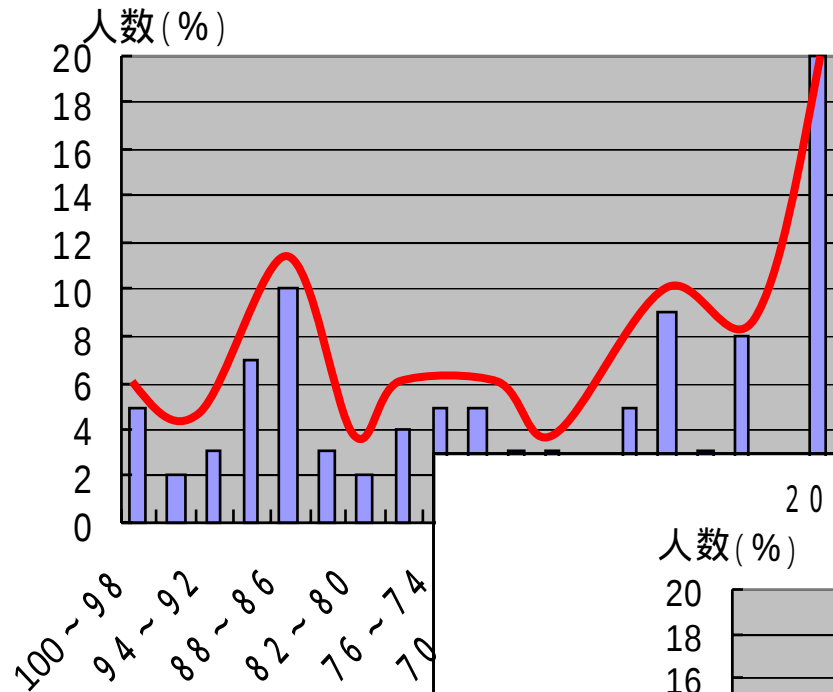
ボランティアティーチャー

保護者より広く募集(人材バンク)



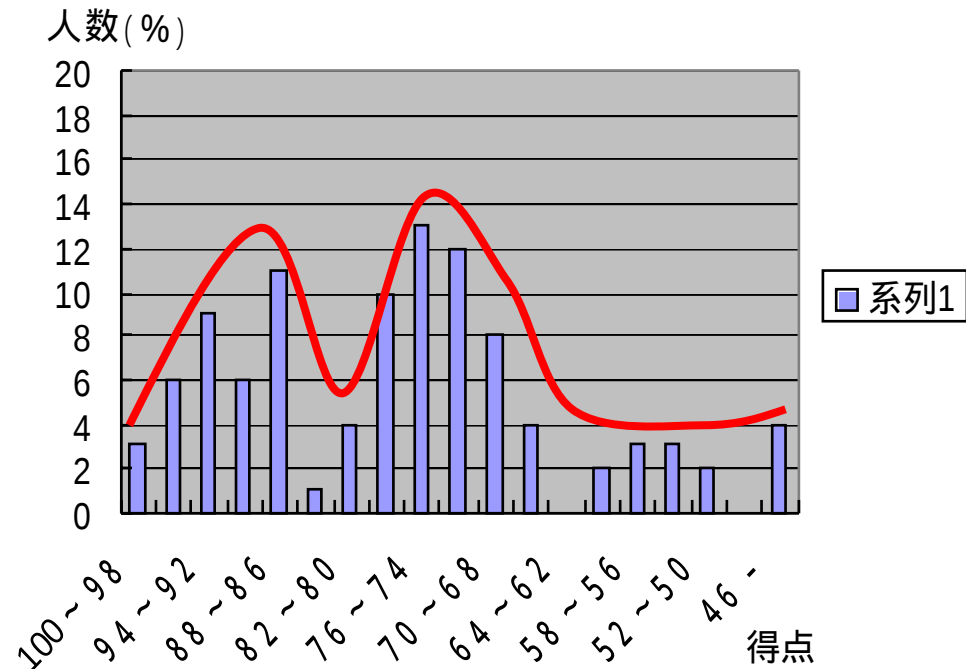
担任補助: 2 ~ 6 年 (14 名)

2001年4月 算数の得点分布

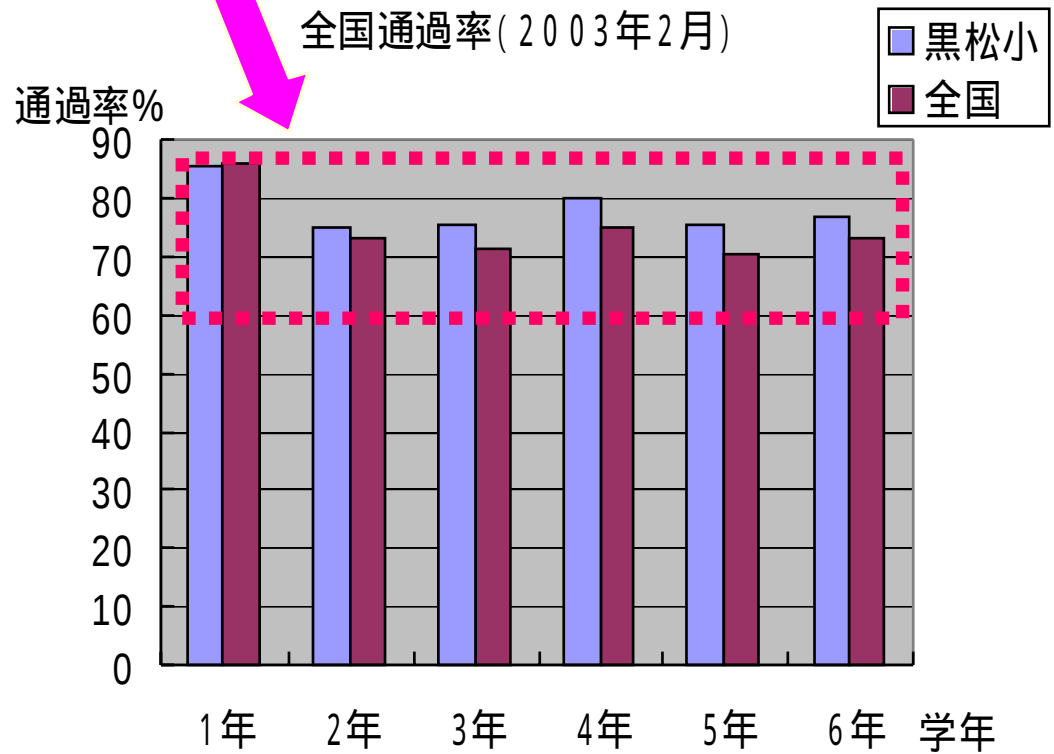
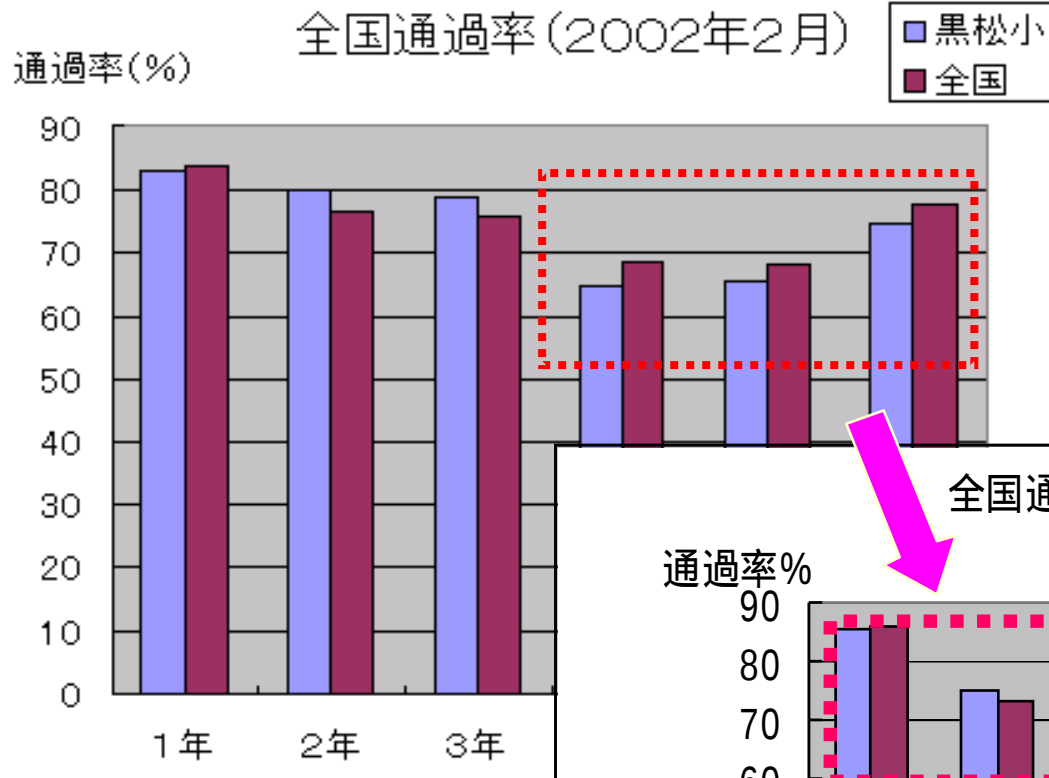


14年度末
CRT- 検査
(抽出学年)

2003年2月 算数得点率分布

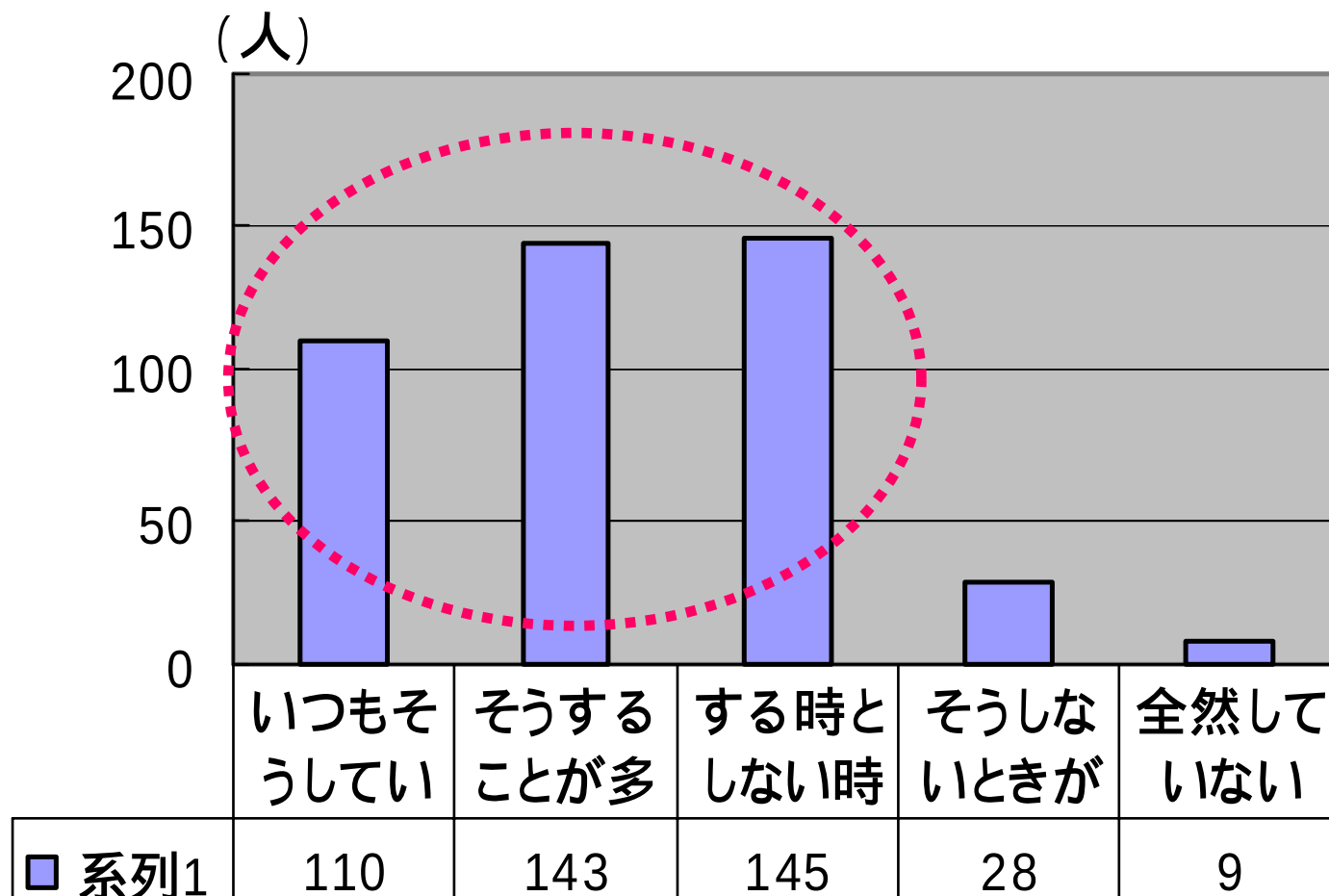


14年度末 CRT- 検査 (全学年)



児童の学習意欲に関する調査 2003年2月実施

むずかしい問題でもあきらめないで解く(3～6年)



自ら意欲を持ち主体的に学ぶ児童

評価

学習状況の把握

- ・CRT(年度末)
- ・通信票(各学期)
- ・算数のあゆみ(年3回)
- ・国語, 算数の手引き
- ・学習チェック表

基礎力(読み・書き・計算)の育成

スキルタイムの充実

- ・100ます計算
- ・漢字, 音読など

学習習慣の形成

- ・家庭学習の継続
- ・長期休みの課題

基礎基本の確実な習得

黒松の 児童の実態

授業改善

授業の質的改善

- ・子ども一人一人の力を伸ばす授業
- ・子どもにとって魅力ある授業
- ・教師の専門性を生かした授業

学習形態の工夫

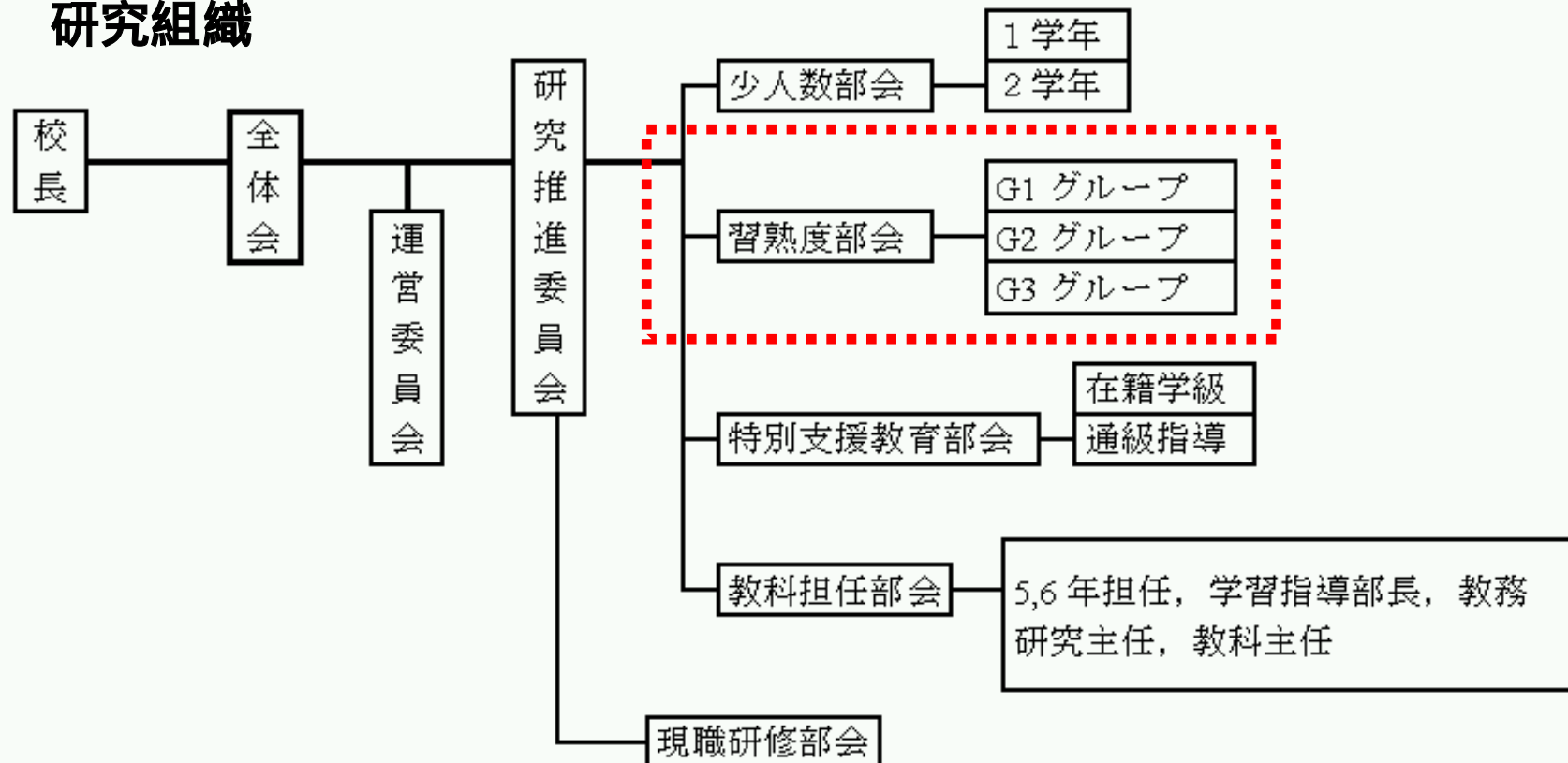
- ・1, 2年少人数指導
- ・習熟度別グループ指導(3 ~ 6年)
- ・ボランティアティーチャーの活用
- ・教科担任制(6年)
- ・特殊学級との交流授業
- ・個別指導

平成15年度の取り組み

・授業の質的改善・指導法, 指導技術の向上

新しい体制作り

研究組織



平成15年度の取り組み

・授業の質的改善・指導法, 指導技術の向上

新しい体制作り

- 研究組織
→ 各グループ別に
- 1・2年
→ 少人数指導を含めた
全校システム化
- 教科担任制の導入



黒松小学校 算数指導システム

< 少人数指導 >

1 学年 (担任 + 加配 1 名)

- TT 指導 (4 月 ~ 9 月)
- クラス等質 2 グループ指導 (10 月 ~ 3 月)



2 学年 (担任 + 加配 1 名)

- クラス等質 2 グループ指導 (4 月 ~ 12 月)
- 習熟度別グループ指導 (1 月 ~ 3 月)

< 習熟度別指導 >

3 ~ 6 学年 (担任 + 専任 2 名)

- 習熟度別グループ指導 (通年)



今後の方向

- 研究のまとめ(今年度の成果と課題)
 - ・「基礎・基本の手引き」達成状況調査
 - ・児童の評価
 - (算数チェックカード, 算数のあゆみ)
 - ・児童意識調査(グループ指導, 学習意欲)
 - ・CRT検査とデータの蓄積
 - ・各グループ間の指導内容のすり合わせ
 - (内容の精選, 指導計画の見直し)